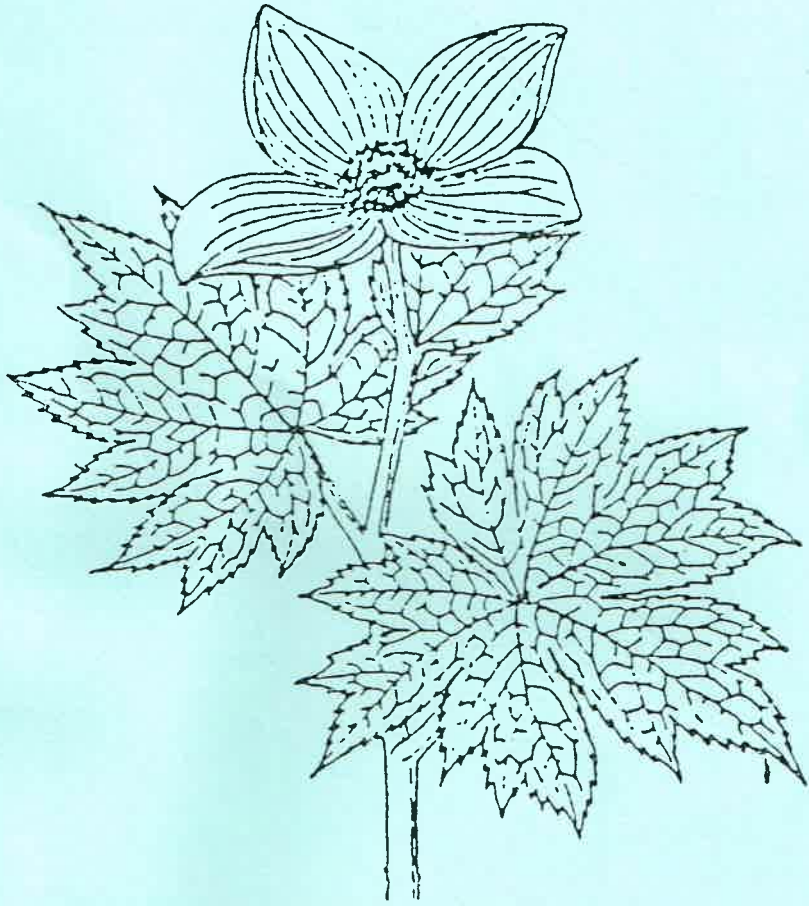


エゾマツ



Glaucidium palmatum

特集

野幌森林公園ガイド

No. 29

1994. 6. 10

北海道ボランティアレンジャー協議会

目次

1. 巻頭言 森の萌ゆる息吹を感じて.....会長 大友 健..... (1)
2. ボランティア・レンジャー協議会役員一覧..... (2)
3. 役員 Show かい!..... (3)
4. ちよとだけ、虫の世界.....藤田 正次..... (12)
5. 第9回 定期總會報告..... (15)
6. ことばの解説..... (22)
7. 特集 野幌森林公園ガイド..... (23)
8. 本の紹介..... (30)
9. 野外救急講座 No2.....今野 義也..... (31)
10. 観察会研修会情報..... (35)
11. あとがき..... (41)

「巻頭言」

会長 大友 健

森の萌ゆる息吹を感じて

市のグリーンベルト構想の一角である、神宮外苑緑地地区に居を構え、近くの山々に花暦ならぬ、緑暦の日々を送ることができる私である。

山々の色彩は、黄や黄緑の木の葉で彩りはじめ、それらが山が近いだけに、息吹として、感覚を抱くのかもしれない。

エゾヤマザクラ、キタコブシの花、シユウリザクラの赤みがかった開葉、これらは山頂へと駆け足で、息吹が聞こえるように登り始めるのである。

樹木、そして林床の草花も季節を感じ、生命力を十分に発揮し、芽を出し、咲きにおう春、フィールドとしている、ユースホステル裏山を歩き、今シーズンのボランティア活動の意欲に燃えるのである。

空気が、風が、陽光があでやかな四季の自然のサイクルのなかで、心華やぎ自然の生命力に感動の数々を、重ね重ねていくのである。

森が萌黄色、そして新緑へと彩られる6月上旬、樹冠を通してくる陽光、通り抜けて行く風に、体も心も洗われていくような感覚がする。

日常生活において、自然環境との接触の機会を多くとの観点からも、森林空間利用のレクリエーション活動の、活発化などを背景に保健休養の場として、森林利用を行政は進める施策を実行しつつある。

1990年の農林業センサスを見ると、国有林のレクリエーションの森と、公有林の県道民の森、市民の森、森林公園など全国で62万ヘクタールで、都道府県別では、北海道が27万ヘクタールと群を抜いている。

一人当たりでは全国平均50平方メートルに対し474平方メートルとなっている。私たちは、この中の一点で活動しているという、生きがいを見だし、点と点を結ぶ大きな活動の輪を、地方の会員と共に作り協議会の発展のため、堅実な歩みを続けて行きましょう。

さわやかな空、緑の木々の下で

一年の中で一番さわやかな季節です。会員の皆さんも各地で自然の恵みを満喫していることでしょう。

今年からできるだけ、各地の情報を収集し、各地の活動を順次紹介していこうと考えていますので、各地の活動の様子や、季節ごよみを提供していただければ幸いです。また、各号に特集を組み、季節に合った紙面作りを計画しています。

今回は、私たちのメインフィールドである「野幌森林公園」にスポットをあててみました。

北海道ボランティア・レンジャー協議会役員一覧

会 長	大 友 健		
副 会 長	川 端 功 治	佐々木 幸 夫	
事 務 局 長	佐々木 幸 夫		
総務部部長	佐 藤 健 一	広報部部長	田 村 允 郁
総務部部員	小 淵 修 子	広報部部員	森 田 敏 光
"	田 口 潤 郎	"	香 島 由美子
"	松 本 里 子	"	三 崎 篤
"	祐 川 弘	"	鈴 木 彰
"	樋 口 達 郎	"	藤 田 正 次
研修部部長	瀧 谷 尚 弘	"	中 居 秀 機
研修部部員	五十嵐 一 夫	"	横 塚 和 恵
"	田 中 利 男	監 事	松 野 誠 也
"	小 林 英 世	"	目 黒 孝
"	須 賀 盛 典		
"	今 野 義 也		
"	下 条 三 津 江		

(役員は平成6年4月30日の総会で選任されました。)

役員 S H O W か い !

春の定期総会も終わり、役員も一新されました。老若男女、経験たっぷりの人、そうじゃない人、いろいろな人がそろいました。総勢26名の新役員の皆さんにひとつひとつお願いしました。役員の皆さん!ご協力ありがとうございました。

* 会 長

大 友 健 (67歳) 全日本スキー連盟公認指導員

新役員みんなで力をあわせ、地方会員をふやそう!

* 副会長兼事務局長

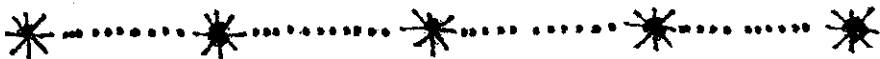
佐々木 幸 夫 (?歳)

過般の第9回定期総会で、副会長(研修部、広報部担当)兼事務局長に選任されましたが、自分としては決して適任とは思っていないので、この期間皆さんのご協力により全うしたいものです。

特に事務局長兼任は正常ではないので、次回改選期(2年後)には、適任者ができるよう期待して頑張ります。

協議会は間もなく設立10年目を迎えます。ボランティア・レンジャー育成研修会の第1回昭和61年に、千歳市支笏湖へ行って以来、去年の9年目厚沢部町土橋教育林で第14回を数え、この間505名のボランティア・レンジャーが育成されましたが、現在協議会会員は、このうちの約30%に過ぎません。

もっと魅力ある協議会にするためにどんなことを組織としてすべきか、協議会の目的に沿った活動が、より活発になり、人間と自然の架橋的役割が十分果たせる組織の充実に努力したいと心に誓っております。



* 副会長

川 端 功 治 (76歳) 無職

今日、札幌キノコ会の集会があって、(ボランティア・レンジャーの仕事にも役に立つと思って野の花の会とかいろいろやっているんだけどね)行ってきました。

ボランティア・レンジャーの観察会などでも感じることは、特に野幌自然公園などがそうだけど、なんでもとっちゃダメ!っていうんですね。例えばオオブキやアキタブキなどがあったら、調理の方法をいろいろ話すのもおもしろいし、自然とともに歩む感覚をざっくばらんに話し合っって自由にできる体制にしたいな。堅苦しすぎるレンジャーってなんだろう?そんなにむずかしいこといわないで、共存しあうのがレンジャーの役目じゃないのかなあって思うんですよ。

* 総務部長

佐 藤 健 一 (?歳)

オーストラリアに最初に足を踏み入れたイギリス人が、かつて見たこともない動物を発見し原住民に、あれは何という動物であるか、と質問したところ、”カンガルー?”と返答したそうです。

それで有袋類カンガルーの名前がつけられたと何かの本にかいてありました。因みにカンガルーの意味は多分アボリジニー語だと思いますが、”知らない”。

豆腐と納豆みたいに名前がいれかわったとか、学名を直訳してニセアカシアとかひょんなことで命名されるものが多々あるようです。

自分の子供に悪魔と名づけて、お役所ともめている親がおります。悪魔の仕事は人類に災いをもたらすことを本業とし神様にケンカを仕掛けて、いつも負けるけれど、しぶとく悪さをする、人の困るのを楽しんでいる変なやつです。

きっと、お役所は悪魔が一人でも増えるとそれだけ災害復旧費がかさむと思いで反対しているのでしょう。

ところで、泥棒、強盗、収賄、監獄、罪人などと届けたら、お役所はどんな対応

をするかなと思ったりします。（そんな人はいないでしょうけど…）

変わったところで、“鳥遊”と書いてタカナシさんと呼びます方がいます。鷹がないから鳥が遊んでいるのだそうです。判じ物みたいな名前の人もあるものですね。

植物の名前で冗談では、恥じのカキドウシ、夜でもアサダ、朝でもバンダ、それハコベ、買いにいつたらアズキナシ、熱があったらヒヤシンス、いも掘った早くニレ、足フトイ神経ホソイ顔シカクイこんな女にホーレンソウ、フジの病になりました……もういい加減にせいと、コブシで叩かれそうですのでこのへんでやめましよう。

総務部長になったから何か挨拶せよとのことで、こんなつまらんことを書く羽目になりました。縁の下の力ナシ、何分のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

* 研修部長

瀧谷 尚弘（?歳） 大学職員

会員の皆様、こんにちは。この度の役員改選で、広報部の担当から研修部を担当することになりました。どうぞよろしく。

本職は大学の職員で、雑用一般を日々こなしております。元来、生き物の観察や飼育が好きで、蜜蜂や蚕を友とするうちに、いつの間にかレンジャーの仲間に入っていました。

実は、私が野幌で養成講座を受けた年のおよそ1年前、蜂や蚕の調査で野幌森林公園を訪れておりましたが、まさか自分がその同じ場所で養成講座を受けることになるとは、思いもよりませんでした。世の中はそんな具合に、なかなか不思議な出会いやきっかけがあるものです。さて、本来なら、山口前研修部長が頑張って、会を盛り立てていらっしゃる筈が、突然のご逝去により、後を引き継ぐことになりました。会員の皆様の豊富な経験と知恵を是非ともご提供いただき、プロとは違った意味で、参加者と共に楽しみを分かち合えるレンジャーを目指したいと考えており

ます。

会員の皆様には、野幌だけでなく、他でも観察会を実施して欲しい、という声もあることから、今年は、ニセコ、恵庭、滝野と、舞台を少し範囲を広げってみましたので、興味のある方は、是非率先してご参加ください。誰かに何かを教える、というのではなく、一緒に学ぼうではありませんか。そのためにも、機会をとらえて是非ご参加ください。役員に選ばれた私共も頑張りますので、会員の皆様も奮って、気楽にご参加下さい。

* 広報部長

田 村 允 郁 (54歳) 教員

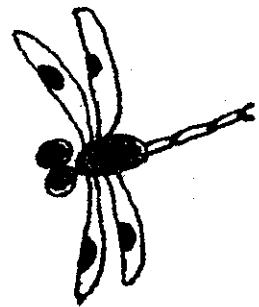
「見ずして語るな」ということばは、ナチュラルリストの鉄則です。しかし、「見ることから始めるしかない」とやみくもに野山に入り込むことも、賢いありかたではないようです。

ボランティア・レンジャーの仲間と心を割った情報の交換は、「見る」という直接経験にかなわぬとしても、間接経験として大切にしていきたいものです。

* 監 事

松 野 誠 也 (?歳)

昆虫少年の頃の思いが、自他共に認める(他はどうかな?)私という自然大好き人間を作ってきた様で、身近な自然を彷徨しています。



*** 監事**

目黒 孝（約65歳） 北海道産業廃棄物協会常務理事 兼
日本ペタンク協会公認普及指導員 兼 町内会長

前年度まで、総務部（理事）を担当させていただき、本年度から監事職を拝命しました。

豊かな自然の恵まれた中で、生態権の自然観察を通して、素晴らしいボラレンの仲間と共に、自然環境の保全の一端を協力できることを誇りとしておる一人です。

*** 総務部員**

田口 潤郎（約54歳） タクシー運転手
4年目ですが、がんばります！ファイト



*** 総務部員**

松本 里子（約64歳） 無職

このたび、この協議会の総務部の部員として、お手伝いをする事になった、松本里子です。何か一つでもお役に立てれば…とおもいます。ご指導のほど、よろしくお願いします。

*** 総務部員**

祐川 弘（約60歳） 会社員

魅力のないのに、大役でよわっています。何かの役にたつようがんばります。

*** 総務部員**

樋口 達郎（?歳）

会の活性化のために微力ながら頑張りたいと思います。みんなで、持ち合わせている力を結集して、より良い協議会にしましょう。

* 研修部員

五十嵐 一 夫 (約37歳) 当別町役場

自然観察会や下見に参加したことのない会員の皆様、ぜひ一度、参加してみてください。自然のすばらしさ、不思議さを一緒に体験しましょう。

* 研修部員

小林 英 世 (約36歳) JR職員

説明にこだわらない、観察会に参加された人の意見を引き出す、そんな観察会を心がけていきたいと思っています。

* 研修部員

今 野 義 也 (約?歳)

得意分野は野鳥です。会報に「野外救急講座」連載しています。読んでください。

* 研修部員

下 条 三津恵 (ナイショ)

はじめまして。私は、このたび研修部の役員をお引き受けすることになった者ですが、これを機会に、観察会にも参加して学習し、先輩の方々の足手まといにならないように努力していきたいと思っています。今後ともよろしく申し上げます。

* 広報部員

森 田 敏 光 (32歳) 会社員

広報部を担当させていただきます。山歩きから、観察会の方へ活動を移しつつありますが、まだまだ、勉強不足ですので、皆様方のご指導よろしく申し上げます。

* 広報部員

鈴木 彰 (?歳)

あれよあれよといううちに、広報部に選ばれてしまいました。さて、抱負は…?

* 広報部員

藤田 正次 (?歳) 薬剤師 身長170cm 体重60kg 足27cm

銭函天狗山に登ってきました。片道1時間ほど。景色は最高。是非、一度登ってください。ジョウザンシジミもいるよ!

* 広報部員

中居 秀機 (?歳)

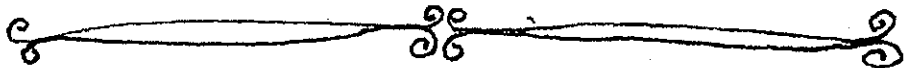
レンジャーになって2年になるけど、ちょっと(片手くらい)しか参加してません。人の役に立ったことがないけど、この機会に自分のためにも(老後のためも)何かお役に立ちたいと考えています。アウトドアなら大好きなので、レンジャーとしてがんばるぞ!



* 広報部員

横塚 和恵 (111歳) 共働きニセ主婦

気力、体力、年齢とも、会長の半分以下です。でも、威勢はいいぞ。一度も観察会に参加したことのない、とんでもない役員が誕生いたしました。今年目標、一回だけでも参加するぞ!(参加することに意義がある…はずだ?)



引越し人生で得たボランティア・レンジャー

天祐院鉄船道駕…船で駕籠で、水を行き、道を行きした引越し大名、松平直矩公の法号である。

越前大野を振出しに、南は九州豊後、北は出羽の山形と日本中を股にかけての引越し、最後の任地、陸奥山形で生涯を終える54年間に7回の封地替をさせられたといわれる。

大名の引越しは、都度たくさんの家臣団、その家族を伴うことから大変なことだろう。スケールの大きき難儀の度合い等比べようもないが、現在サラリーマンにとっても、封地替（転勤）は絶えずついてまわる大きな出来事です。

私も、35年間の勤務で10回の転勤と14回の家移りを体験した。多いほうか、少ないほうか分からないが、よくぞ転勤ばかりしていたものだと思っている。

新任地で心掛けていることに、早くその土地、その町をすきになること、友人を見付ける事だと思ふ。

いろんな趣味を持った人と友達になったが、学ぶ期間も短く全て中途半端でおわってしまった。

しかし山登りの友から教えられた、四季それぞれの草木、鳥のことなど、今までなんとなく見過ごしていたものにすばらしい感動と興味を覚えた。ボランティア・レンジャー養成講座に参加する機会を得たのも、その友人の助言であった。

三年目になったが、全く活動に参加していない。好きなだけではつとまらないと分かっている、メンバーの方々のレベルの差に気後を感じている。

引越し人生で得たせっかくの機会、これからの生きがいの一つになるやも知れない場でもある。

下見こそ生きた学習、自分を磨く絶好の機会との助言をいただいた、遅れ馳せながら、ゴルフ・山登りを少し減らして、まずは下見をスタートに、活動に参加したいと思うこの頃です。



札幌市北区太平10条7丁目5-8
三崎 篤 54才（北海道信連勤務）

前期に引続き研修部の一員となりました。

近年《グルメ食嗜好》とかで報道機関などあまり“自然食だ”“山菜だ”と騒ぎ過ぎではないか、それぞれの地方で（山菜食クラブ）などと盛り上がっているのは仕方ないとしても わざわざ紹介してまでも食べてみれ と言うのは行き過ぎでないですか。

《NHK》の《バイケイソウ》もそうですが 毒をクッテも当たらない様な人もいるわけですか？ 私も若いころ（ハンゴンソウ）を食べさせられヒドイ目に遭いました、そのおり「俺は何ともないよ」と言う人がいましたが、わが家は全員ダメでした。

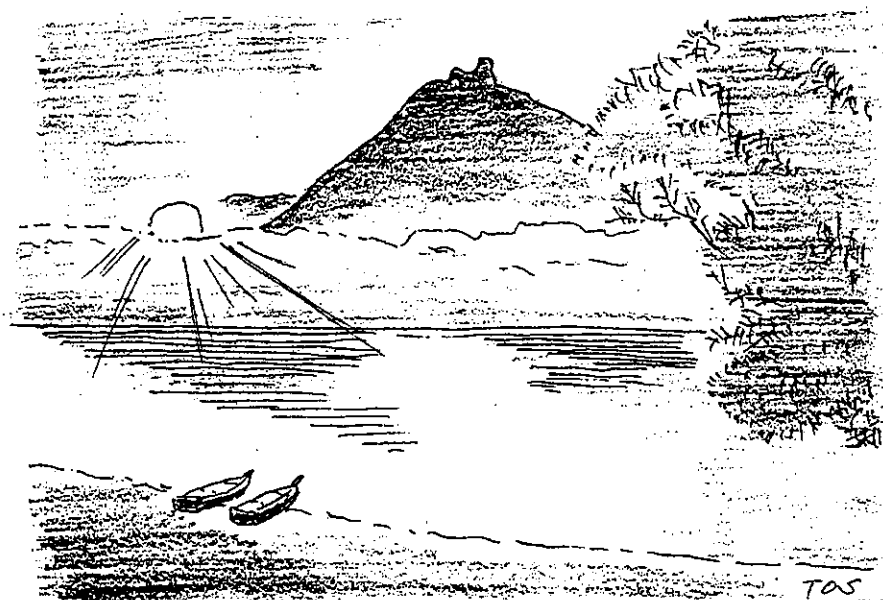
シコツの森で（ユキザサ）を採っている婦人に会いました（客に出すプロ）「一年分です」と言っていましたがい物ビニール袋一つでした「今の時期だけが安心で、あとは毒が出てくる？ 誰でも食べてもらうには今の時期しかないのですよ」「大きいのだけ採り地割りして順番に採る、今度ここを採るのは5・6年後ですよ」と、まっかに咲く（ヒダカエンレイソウ）のわきで話す。

「こんなきれいな花はお客さんに見せたいが、庭では絶対このようにきれいだと感じないからね」とも言う。

自然に感謝してひっそりと利用してほしい。 車で押しかけて沢山採って来たことを自慢するなどもってのほか、食べ物はスーパーに山積みである。

今春 会った東京のかたは「私の方ではフキノトウも見られなくなった、いや見えたら必ず採る、私も採るよ、さすがこちらは沢山ある」と笑ったが。

モイワの山路で「アッタアッタ」と騒ぎ チイッチャナ たった一本のスマイレを掘り採った婦人がいたが、大騒ぎするほど見えなくしたのは誰だ……
楽しい協議会にしませんか よろしくお願ひします



（支笏の夕陽）
（II）

ちょっとだけ、虫の世界

第10回受講 藤田正次

原稿を書く事になったものの、何をどのように書いてよいものか、はたと悩んでしまった。何日か考え続けたが結局、結論が出ない。そこで、とにもかくにも、最近読んだ本の内容や思い付いた事を書き連ねてみることにした。

さて、さっそくですが、「昆虫」とはどんな生き物の事でしょうか？では「むし」は？。ものの本によると日本では、この「昆虫」と「むし」ということばを使い分けている様です。「むし」とは、昆虫を含めた節足動物を主体とする生物群を表わしているようです。つまり、皆さんがご存じのクモ、ゲジゲジやワラジムシを含んだグループです。では、昆虫の定義とは何かというと、

「脚が6本あるもの」

簡単でしょう！これで、すっきりと頭の中が整理されたと思います。クモは脚が8本あるから昆虫じゃないし、アリは脚が6本だから昆虫。

ワラジムシは、どう少なく見積もっても、脚は6本より多そうだから、昆虫じゃないということになりますよね！

ところで、私は、5、6年前から、蝶の写真を撮り続けているのですが、これがまたたいへんなのです。というのも、なかなか彼らに近付けない事なのです。静かに近づいたつもりでも、たいていは飛んで逃げてしまおうし、飛び方も様々。皆さんも子供の頃に一度は、網を持って蝶やトンボを追いかけたことがあると思うし、きっと逃げられてしまい、くやしい経験もあると思うのですが、どうですか？

では、実際に蝶やトンボは、いったいどのくらいの速さで飛んでいるか考えたことはありませんか？なんと、オニヤンマのスピードは時速25~40Kmなのです。ちなみに100Mを10秒で走る人が世界には何人かいる様ですが、これを時速にすると36

Km!という事は、一般人の我々がムキになって追いかけても、結果はみえています。

では、モンシロチョウはというと、時速10Km~20Km。これなら勝負になりそうです。ところが世の中そんなに甘くはないのです。追いかける時、網は持っているしもちろん地面は競技場の様に整備されているわけではなく、その上、蝶は素直にまっすぐ飛んでくれないとなると、そう簡単にはいきませんよ。そこで、虫屋さんと呼ばれる方々は、昆虫たちのシュウセイを体と頭で覚え込み、彼らの通り道で待ち伏せしたりして、捕獲しているらしいのです。しかし、世にいう達人の域に達するのは、どんな場合でもたいへんな様です。

それでは、網を持って追いかけてくる虫屋さん達の姿は、昆虫たちの目にどの様に映っているのでしょうか…? 皆さんも知ってのとおり、昆虫の目は人間の目とは全く違う小さな目がたくさん集まった複眼といわれるものです。ですから、当然、100個あれば100個のそれぞれの目に、100個の景色が映っているのです……………?。

という訳はなく、ひとつひとつのパーツが集まって全体でひとつの景色になる。タイル張りの絵の様に映っているらしいのです。ですから、全体で1個のものを見つめていることになります。そして、色はというと、人間の三原色が赤、緑、青なのに対して、昆虫の三原色は、緑、黄、紫外線色なのだそうです。そんな目で、地面上を歩き回ったり草原や花畑を飛びまわっている彼らは、どんな景色を見ているのでしょうか?

ところで、成虫は美しい蝶ではありますが、幼虫は皆さんが嫌いなイモ虫です。そんなイモ虫を是非、ボラレンの方々に、一度でいいから飼育することをお勧めします。イモ虫に毎日、毎日、えさを与え、そうじをしてやり、育ててください。やがて、彼女は蛹になります。そして羽化。大変身の時です。これが、大感激ものなのです。一度、お試しください。きっと、蝶はもちろん、幼虫だって好きになれます。

今日のお・す・す・め・ です。

P・S

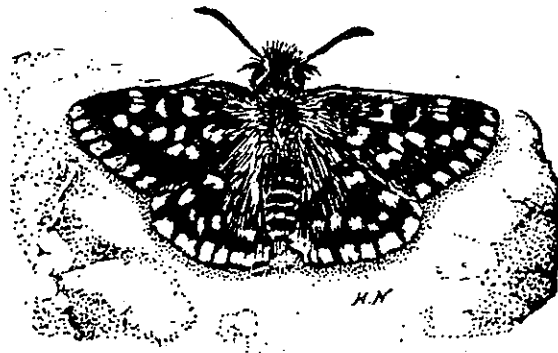
カメラを持って蝶たちに近づく時、いつも、心の中で彼女たちに話しかけているのです。

「いいよ～。とってもいいよ～。とっても、きれいだよ。網で採ったりしないから、だいじょうぶだよ～～～ン。それにしても、きれいだなぁ。本当に美人だよ～ン。そのまま、そのまま、じっとしててねえ」

でも、そんなおだてにもものらず、たいてい彼女らは途中で逃げてしまう。それをまた追いかけまわす私なのです。

* 絶対、口には出さず、心の中で話しかけるだけにしてください。

(某広報部員よりお願い)



小石の上で日光浴するヒメチャマダラセセリ

* 総務部員

小 淵 修 子 (?歳)

総務部会計を担当することになりました。健全会計を目指します。皆様のご協力をお願いいたします。

広報部からの依頼によると生年月日まで紹介せよとのことですが、勘弁していただいて、そっと誕生日のみをお知らせしましょう。生まれは、11月27日、「誕生花の本」によると誕生花は、「ぬるで」となっています。おお神様！私の大好（敵）なウルシ科ではありませんか。去年は、手、腕、首、額とまつわりつかれて四回もかぶれてしまいました。うるしには、めっぽう弱いのです。花ことばは、「"信仰" 神と共に生きているような人。清らかで愛らしく、思いやりがある人」ですって。もう全身がむずがゆくなってきました。

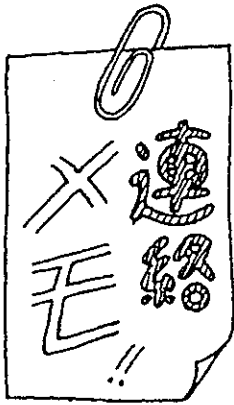
今日は、エゾハルゼミの声に迎えられて、野幌自然観察会に参加しました。すっかり大きく緑葉になったツタウルシを横目に木もれ日の中を道々の草木をめでながら、五感に気持ちのよい刺激を受け、とてもリラックスした気分になりました。

「観察かぶれ」になる程に、これからも大いに自然に親しみ、観察会では参加者に森の心地好さを十分に感じてほしいと念じながら、楽しい観察会を心がけたいと思っています。

* 広報部員

香 島 由美子 (?歳)

最近、街並みはとてもきれいになりました。ところがその分、自然がどんどん破壊されています。水質汚染やゴミ問題。自然を大切にしようとしないと、そういった問題は、解消出来ないんじゃないでしょうか。自然を大切にすることを、広く感じてもらうために、ボランティア・レンジャーは、重要な役割りを担っていると思います。



ボランティア・レンジャー協議会の運営に関わる財源は、ご存じの通り会員の皆さんの会費によってまかなわれています。

本年度の会費納入を確認され、まだの方は納入にご協力ください。

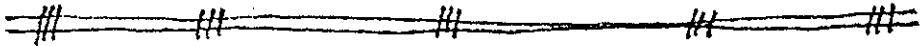
[送金方法]

郵便振替 02780-3-21442

加入者名 北海道ボランティア・レンジャー協議会

会費納入についての問い合わせについては、下記へお願いします。

総務部 会計係 (小淵 修子 TEL 011-893-6309)



役員会報告

平成6年度、第1回役員会が 5月11日(水)札幌市職員会館(中央区大通19丁目)においておこなわれました。

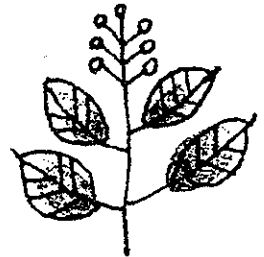
話し合われた内容をまとめると、

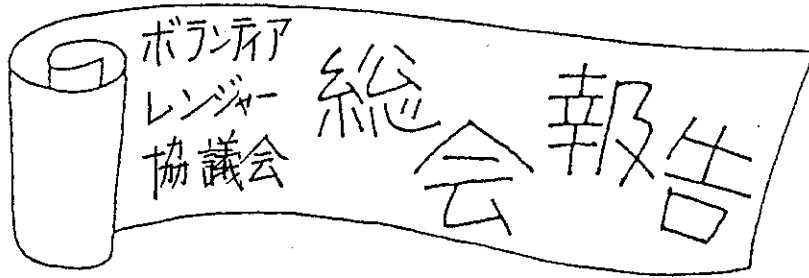
1つには、今年度の各部の具体的な活動についてです。魅力ある活動の在り方について検討しました。

2つには、広報「エゾマツ」に広告を掲載するかどうかですが、機関誌という性格から、慎重に考え検討していくことになりました。

3つには、ボランティア保険に関する事です。

4つには、本会が来年、10周年をむかえるにあたっての記念行事に関する事です。このことについては、検討委員会を設置して、具体案を作成していく手順を確認しました。





昨年、8月28日の第8回定期総会に於いて会則の改訂が行われ、年度期間が4月1日から翌年3月31日になりました。それまで、8月末日に行われていました総会日程も年度期間の改訂に伴って、平成6年度、第9回定期総会が、4月30日(土)に行われました。

かでの2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)を会場としましたが、総会に先立って、近接場所の道庁広場で研修会(観察会)がもたれました。

総会は、午後3時10分より始まり、参加者と委任状によって総会が成立したことを確認し、議長に樋口達郎氏(札幌市)が選出され議事が進められました。

総会の内容は次のようにまとめられます。

(1) 平成5年度 事業報告、決算報告について

各部の活動と決算報告並びに監査報告は提案通りに承認されました。

(2) 平成6年度 事業計画、予算案について

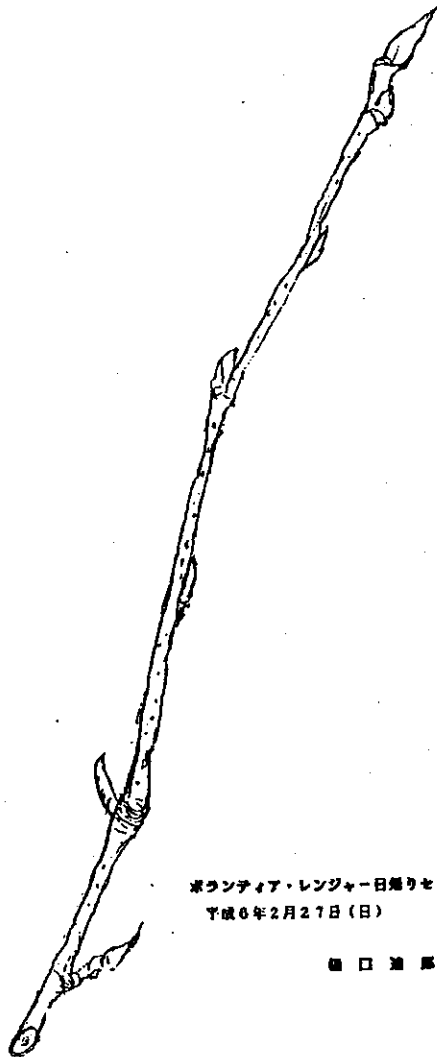
7年2月26日(日)の「滝野の森を歩く会」と7年3月5日(日)の「冬の森観察会」の下見実施日(2月26日)が重なる事については、役割分担等の調整の上で予定通り実施することが了解されました。また、予算案で活動費が減額されたことについての質問がだされましたが、研修費と調整をとりながら活動費を保証していくことが確認され、事業計画並びに予算案は了承されました。

各地からの参加者(釧路からもきていただきました)も多く熱心な話し合いがなされました。総会終了後、懇親会が持たれました。各地での活動交流や情報交換も行われ会員相互の親睦も深まった事と思います。

北海道ボランティア・レンジャー協議会 第 9 回 定 期 総 会

と き 平成6年4月30日 (土) 15時～17時

と ころ かでる2・7 札幌市中央区北2条西7丁目



ボランティア・レンジャー日帰りセミナーで
平成6年2月27日(日)

山口 進 郎

北海道ボランティア・レンジャー協議会

第9回定期総会議事次第

- 1、 開会のことば
- 2、 会長の挨拶
- 3、 来賓の挨拶・紹介
- 4、 議長の選出
- 5、 議事録署名人選出
- 6、 議事
 - 議案（1） 平成5年度事業報告
 - 議案（2） 平成5年度決算報告
 - 議案（3） 平成5年度監査報告
 - 議案（4） 平成6年度事業計画案
 - 議案（5） 平成6年度事業予算案
 - 議案（6） 役員を選任について
 - 議案（7） その他の事項
- 7、 閉会のことば

議案(1) 平成5年度事業報告

- 1、北海道ボランティア・レンジャー協議会第8回定期総会
平成5年8月28日 於 かでる2・7
- 2、役員会の開催 平成5年9月21日、平成6年1月18日
- 3、『野幌自然観察の集い』 平成5年9月5日 (16名)
- 4、会報『エソマツ』の発行 1回 27号
- 5、会員研修自然観察会 北大付属植物園 平成5年8月28日
- 6、会員研修 日帰りセミナーに参加 野幌森林公園 開拓記念館講堂
平成6年 2月27日 (38名)
- 7、第1回関係機関との懇話会 野幌森林公園 開拓記念館講堂
平成6年 2月27日 (31名)
- 8、ボランティア保険の加入 (153名)
- 9、その他事業関連協力及び参加 ()内はボラレン参加者
 - ア、野幌森林公園主催 野幌森林公園四季の観察会協力参加
平成5年10月17日(8名) 平成6年3月12日 (12名)
 - イ、野幌森林公園観察会・月例ウォッチング協力参加
平成5年11月11日(7名) 12月9日(6名)
平成6年 1月13日(9名) 2月10日(6名)
 - ウ、石狩支庁・千歳市共催『自然教室』 千歳市青葉公園
平成5年9月11日 (12名)
 - エ、江別市中央公民館主催、野の草花観察会
野幌森林公園 平成5年10月20日 (3名)
 - オ、野幌森林公園を守る会主催 くまげら一斉調査、協力 野幌森林公園
平成6年3月13日 (4名)
 - カ、北海道ボランティア・レンジャー育成研修会の後援厚沢部町
平成5年8月6日～8日 (1名)
 - キ、ボランティア・レンジャー実践セミナーの参加 三笠市
平成5年10月1日～2日 (35名)
 - ク、北海道保健環境部環境調整課主催、せせらぎスクール 定山溪
平成5年7月9日～10日(4名)
 - ケ、北海道林業試験場主催、インストラクターリーダー養成講習会
平成5年5月18日～21日(4名)
 - コ、手稲区歩こう会主催、『自然観察会』 野幌森林公園
平成5年9月28日 (3名)

議案（２）平成５年度決算報告

平成５年度決算報告書

平成５年８月１日～平成６年３月３１日

収入の部

単位 円

項目	予算額	実績	差額	摘要
前期繰越金	151,446	151,446	0	
年会費	300,000	270,000	-30,000	
預金利子	2,000	0	-2,000	
懇親会費	0	40,500	40,500	参加者分担金
雑収入	0	39,482	39,482	寄付金
合計	453,446	501,428	47,982	

支出の部

項目	予算額	実績	差額	摘要
総務部費	100,000	162,278	-62,278	総会、役員会
広報部費	120,000	62,385	57,615	会報エゾマツ
研修部費	40,000	17,968	22,032	研修会
事務費	100,000	5,916	94,084	切手、事務用品
活動費	50,000	48,696	1,304	ボランティア保険料
予備費	43,446	23,000	20,446	香典、供花
合計	453,446	320,243	133,203	

残高 181、185円 を次年度への繰越金とする。

議案（３）平成５年度監査報告

監査報告

監査の結果、領収書など確認のうえ上記収支に相違なく、残高については預金通帳及び現金にて確認した。

平成６年４月 ９日

監事

川端 功治

印

松野 誠也

印

議案(4) 平成6年度事業計画案

(平成6年4月1日～平成7年3月31日)

- 1 北海道ボランティア・レンジャー協議会第9回定期総会 かでの2・7
平成6年4月30日(土) 15:00~17:00 会員研修観察会13:00~14:30 懇親会17:30~
- 2 役員会 年 4回
- 3 自然観察会
*環境月間協力行事(環境の日)北海道と共催 「野幌自然観察会」
野幌森林公園 平成6年 6月 5日(日) 9:30~12:00
*「ニセコの自然」 平成6年 6月26日(日) 時間未定
*「恵庭の自然」 恵庭公園 平成6年 7月24日(日) 9:30~12:00
*「野幌自然観察の集い」野幌森林公園 平成6年 9月 4日(日) 9:30~12:00
*「野幌の森林」 野幌森林公園 平成6年12月 4日(日)10:00~12:00
*「滝野の森を歩く」滝野すすらん丘陵公園 平成7年 2月26日(日)10:00~12:00
- 4 会員研修
*自然観察会「赤れんが」周辺の樹木たち 平成6年 4月30日(土)13:00~14:30
*研修会 昨年度と同様道主催の日帰りセミナーに合せ会員研修会とする 日程・場所とも未定
*交流会 「ニセコの自然」の前夜、ニセコで交流会を開催する 平成6年 6月25日(土) 時間未定
- 5 会報「エゾマツ」の発行 年4回(第29号~第32号)
- 6 関係機関との「懇話会」の開催 昨年度と同様道主催の日帰りセミナー終了後、開催する
- 7 支部・地方幹事との連携
支部・地方幹事との密接な連絡、交流を図り、地方での自然観察会や交流会の企画・情報交換を行なう
- 8 ボランティア保険料の交付 前年通り1会員300円郵便切手で交付する
- 9 その他事業関連の協力と参加
ア野幌森林公園事務所主催「森の観察会」(日曜日実施)の協力・参加
平成6年 5月15日 9:30~14:30 平成6年10月23日 9:30~14:30
平成7年 3月 5日 9:30~14:00
イ野幌森林公園事務所主催「森の観察会」(木曜日実施)の協力・参加
平成6年 4月21日 10:00~12:00 平成6年 8月 4日 10:00~12:00
平成6年11月10日 10:00~12:00 平成7年 1月12日 10:00~12:00
ウその他各関係機関・団体が行う「自然に親しむ集い」の協力・参加
エ各関係機関が行う自然保護、保全に係わる調査の協力・参加
オ各関係機関・団体が行う研修などに係わる協力・参加
カその他

議案（５） 平成6年度事業予算案

平成6年度 予算案

収入の部

平成6年4月1日～平成7年3月31日

単位 円

項目	予算額	摘要
前期繰越金	181,185	
年会費	450,000	3,000×150名
雑収入	2,000	預金利子
合計	633,185	

支出の部

項目	予算額	摘要
総務部費	112,500	総会、役員会、その他
広報部費	280,000	会報作成、発送費
研修部費	75,000	観察会、その他
事務費	50,000	事務一般、電話料その他
活動費	40,000	地方支部との交流費
ボランティア保険料	45,000	
予備費	30,685	
合計	633,185	

ことば の 解説

フィトンチッド

森林の中に入るとさわやかな気分になります。体にたまっていた疲れがとれ、体に安らぎを覚えます。森林浴が健康によい理由はいくつかあります。木々の緑は柔らかく、空気がきれいで、そこには、生きた緑が放出する「フィトンチッド」含まれているからです。

フィトンチッドとは、植物や動物から放出され、他の生き物の生活に影響を与える物質、いわば生物活性物質の総称です。ソ連の生態学者 B・P・トーキン博士はそれらに、フィトン=植物、チッド=殺す と名付けました。そしてまた「人間に生気をもたらす物質」とも述べています。

このフィトンチッドの化学式は $C_{12} \cdot H_{16}$ などでありテルペン系物質の不飽和炭化水素の一群です。私たちが直接触れるフィトンチッドは、数あるフィトンチッドの中でも揮発性のもので、おおいの成分として大気中に浮遊しているものです。

樹木が放出するこれら揮発性物質は、薬理効果をはじめ自律神経を適度に刺激して気分を安定させたり、内分泌をよくし、体調を整えたり、頭をすつきりさせる健脳作用や、運動能力を高めるなどの効果が認められています。

葉100gあたりの精油量

樹種	精油量 (ml)
トドマツ	8.0
スギ	3.1
ヒバ	1.4
ヒノキ	4.0
エゾマツ	2.1
ハイマツ	2.0
イチヨウ	0.4
カラマツ	0.3
イチイ	0.1
ノリウツギ	0.1
サンショウ	0.6
ミヤマシキミ	2.4

野幌森林公園 ガイド

石狩平野の南部、札幌市の中心部から東方約15キロメートルのところに広がる野幌森林公園は、昭和43年に開道百年を記念して、道立自然公園に指定されました。

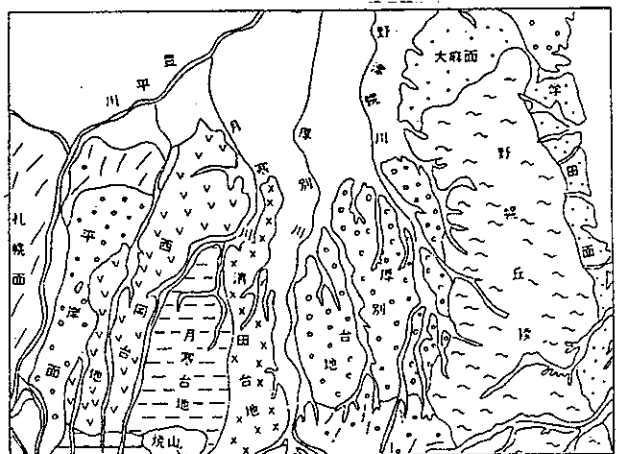
公園の区域は、札幌・江別・広島の3市町にまたがっており、野幌国有林を中心に面積2040ヘクタールの広さがあります。園内には、温帯と亜寒帯の植物がまじりあって生えており、その種類は500種類ほどになっています。

この公園の区域は、それぞれの制度の目的にしたがって、自然休養林・保安林・鳥獣保護地区などに指定されています。また、公園管理の目的に沿って、記念施設地域・森林保全地域・緩衝緑地地域に区分けされています。開拓記念館、北海道開拓の村は、記念施設地域に配置されています。

1. 地形と地質

公園の標高は、海拔30～80メートル程度で公園の中ほどに小高い丘が南北にはしり、全体的にゆるやかな台地になっています。

この、野幌丘陵は、約2百万年前から80万年前くらいの間には海底にたまった泥や砂などの堆積物がその後の地殻変動のために隆起し



土台が形成されました。その後、野幌丘陵は、人類の時代と呼ばれる更新世の終わりのころまでに、隆起と沈降を繰り返しながら、ほぼ現在の形に近い丘陵になりました。

更新世に堆積した地層をもう少し具体的に見ますと右のように、一番下位の地層から、裏の沢層、下野幌層、音江別川層、竹山礫層、もみじ台層、小野幌層などに細分されています。

小野幌層の上層、支笏火山噴出の層は、およそ3万6千年前から3万年前くらいの間に続いた、支笏火山の噴出による支笏系火山灰です。

支笏湖は、この支笏火山の大規模な噴火によって陥没したところにできたカルデラ（スペイン語で「鍋」の意）湖として有名ですがこの噴火活動に伴う大量の噴出物も、野幌丘陵に大きな変化を与えました。

野幌丘陵の地質時代区分

時代	地 層 名	気 候
完 新 世		
更 新 世 後 期	— 1万年前 — 広 島 砂 礫 層	寒 冷
	江 別 砂 層	
	元 野 幌 粘 土 層	
	支 笏 火 山 噴 出 物	
	小 野 幌 層	温 暖
— 6万年前 — も み じ 台 層		
更 新 世 中 期	— 13万年前 — 竹 山 礫 層	
	音 江 別 川 層	温 暖
	— 40万年前 — (氷 期)	寒 冷
更 新 世 前 期	— 80万年前 — 下 野 幌 層	温 暖 冷 涼
	— 120万年前 — 裏 の 沢 層	
	— 200万年前 —	

野 幌 の 語 源

野幌の語源は、アイヌ語で「ヌボロベツ」すなわち「ヌブ・オル・オ・ベツ」で「野の中の川」に由来しているといわれています。そして、下の方が略されて単に「ヌボロ」とよばれていたのが、和人に受け継がれて「ノボロ」となったのだらうといわれています。

2. 樹木について

野幌森林公園は、温帯と亜寒帯との接点にある平地林としての特徴を持ち、野幌原始林野幌原生林として有名です。

しかし、原生林はなくなって、風害のための伐採など、なんらかの人工が加えられた天然林のほか、人工的に造林した林も全体の30%を占めるようになってきていて、昔の姿とはかなり変わってきています。

公園の森林を大別すれば、トドマツを主体にした針葉樹林、カツラ、シナなどの広葉樹林、それに、針葉樹と広葉樹が混じりあつた針広混交林の3つに分けられます。そして、土壌や気象条件などによって、下草や樹種の異なるいくつもの群落を形づくっています。

自生の樹木108種（針葉樹6種、広葉樹102種）のほかに見本林などの外来樹種が61種あります。

北方的要素の強い広葉樹として、ドロノキ、ケヤマハンノキ、オヒヨウ、シウリザクラ、ヒロハノツリバナ、ヤチダモ、エゾニワトコなどがあります。

温帯的要素で石狩低地帯から日高付近へかけての地方を北限とするものは、針葉樹として、エゾイヌガヤ、広葉樹として、コナラ、

野幌における平均的な開花時期

種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
エゾノバッコヤナギ							
ナニワズ							
フクジュソウ							
アキタブキ							
ミズバショウ							
ザゼンソウ							
カツラ							
エゾノリュウキンカ							
キタコブシ							
エゾエンゴサク							
エンレイソウ							
エゾヤマザクラ							
ネコノメソウ							
フッキソウ							
オオタテツボスミレ							
イクヤカエテ							
オオカメノキ							
ニリンソウ							
ヒトリシズカ							
ミヤマエンレイソウ							
エゾクンボボ							
ミヤマザクラ							
フデリンドウ							
ツクバネソウ							
クルマバソウ							
チゴユリ							
マイヅルソウ							
ナナカマド							
ツリバナ							
オドリコソウ							
ユキザサ							
サルメンエビネ							
オオハナウド							
シウリザクラ							
ミズキ							
ホオノキ							
ニセアカシア							
ハクワンボク							
サイハイラン							
チシマアザミ							
ツルアジサイ							
オニシモツゲ							
エゾアジサイ							
シナノキ							
オオフバユリ							
オトギリソウ							
ノリウツギ							
ヨツバヒヨドリ							
ヌスビトハギ							
キツリフネ							
ゲンノショウコ							
ツユクサ							
キンミズヒキ							
エゾミノハギ							
ノッポロガンクビソウ							
エゾヤマハギ							
エゾトリカブト							
ツルニンジン							
ツルリンドウ							
エゾノコンギク							

クリ、エゾエノキ、サワフタギ、ハクウンボク、ウリノキなどがあります。

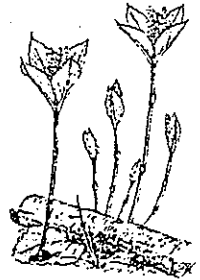
5月に入ると樹木は一斉に芽をふき、カツラ、イタヤカエデ、シウリザクラ、コブシなどの高木の花に混じって、オオカメノキなどの灌木の花も咲きます。また、6月になると、コクワ、ヤマブドウ、ハクウンボクなどの花もさきます。

3. 草花について

400種を越える森の草花は、土壌の性質や湿度、日照などの条件によって適地を選んで生えます。また、遊歩道ぞいには帰化植物などが入りこんでいます。

園内の溜池や沢などは、水草や湿地の植物もあります。

野幌森林公園には、昔からスミレやランの仲間が多く、特にラン科の植物の多いところとして有名ですが、最近は少なくなりました。それでも夏の始めには、サルメンエビネ、ノビネチドリ、サイハイランなど10数種の野生ランを見ることができます。



— 主な観察コース —

○ 瑞穂連絡線

カツラ、トドマツの人工林、広葉樹の二次林、針広混交林、瑞穂池

○ 大沢コース

針広混交林、トドマツ人工林、常緑灌木の群落

○ 桂コース

ヤチダモ、カツラの巨木、トドマツの天然林、シダ類、ラン科植物

○ エゾユズリハコース

広葉樹林、アカエゾマツとトドマツの人工林、エゾユズリハ

○ 四季美コース

タチヤナギ、ミズバショウの群落、溜池の水鳥、昆虫

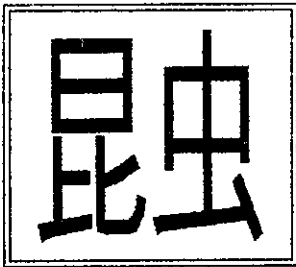
(この他、志文別、登満別コース、下野幌線、中央線、基線があります)

4. 動物・昆虫・野鳥

森林公園の周囲のほとんどが開けているため、動物にとっては快適な住みかとはいえないでしょう。

しかし、公園内には、キタキツネ、エゾタヌキ、エゾリス、シマリス、ノウサギ、モモンガ、イイズナ、イタチ、ミンク、そして、エゾヤチネズミ、エゾアカネズミ等のネズミの仲間など中小の哺乳類がすんでいます。

また、アオダイショウ、カナヘビなどは虫類、エゾアカガエル、エゾサンショウウオの両生類も見られます。



公園内の豊かな植生は、沢山の昆虫が住む格好の場所となっています。この昆虫のうちチョウ類、ガ類、甲虫類、とんぼ類、ハチ類、バッタ類、セミ類なども多く、石狩地方の平地に生息するほとんどの昆虫がいると考えられています。

チョウ類は、62種が確認されていますが、ジャノメチョウ科のチョウが多く、本州ではめずらしいオオヒカゲがとんでいる姿が見られます。

園内では、カラ類や、キツツキの仲間、フクロウなどの森林の鳥が主体になっていますが、オオジシギやヒバリなどの草原の鳥、オシドリやアオサギなどの水鳥も見られ、全部で、140種ほどの野鳥が観察されています。そのうち、70種ほどが、園内で繁殖し巣立っていきます。

森林公園で注目したい鳥は、エゾライチョウ、天然記念物のクマガラ、変わった声をもった、アオバト、トラツグミ、美しい姿のアカショウビンなどでしょう。



5. 野幌森林公園観察会一覧

実施日	実施時刻	行事名	下見実施日	備考
平成6年4月21日(木)	10:00~12:00	4月の森の観察会	4月17日(日)	A
5月15日(日)	9:30~14:30	春の森の観察会	5月8日(日)	A
7月3日(日)	10:00~12:00	森で遊ぼう	別途決定	B
8月4日(木)	10:00~12:00	8月の森の観察会	8月2日(火)	A
10月23日(日)	9:30~14:30	秋の森の観察会	10月16日(日)	A
11月10日(木)	10:00~12:00	11月の森の観察会	11月8日(火)	A
12月4日(日)	13:30~15:30	講演会		B
平成7年1月12日(木)	10:00~12:00	1月の森の観察会	1月10日(火)	A
2月19日(日)	10:00~15:00	冬の森を歩く	別途決定	B
3月5日(日)	9:30~14:00	冬の森の観察会	2月26日(日)	A

Aは、北海道ボランティア・レンジャー協議会に協力を依頼。

Bは、開拓記念館と共催。

~~~~~

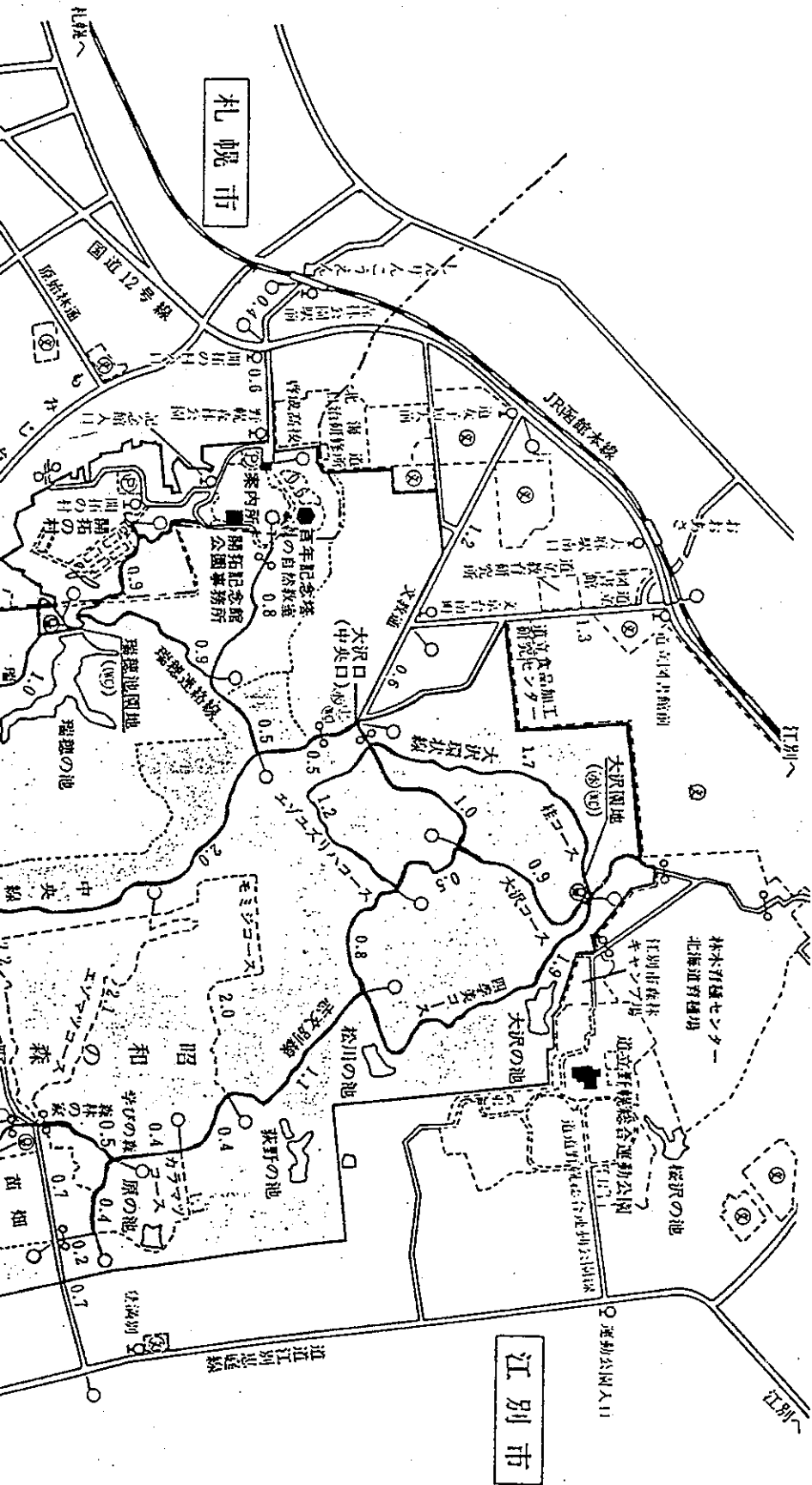
特集「野幌森林公園ガイド」をまとめるにあたって

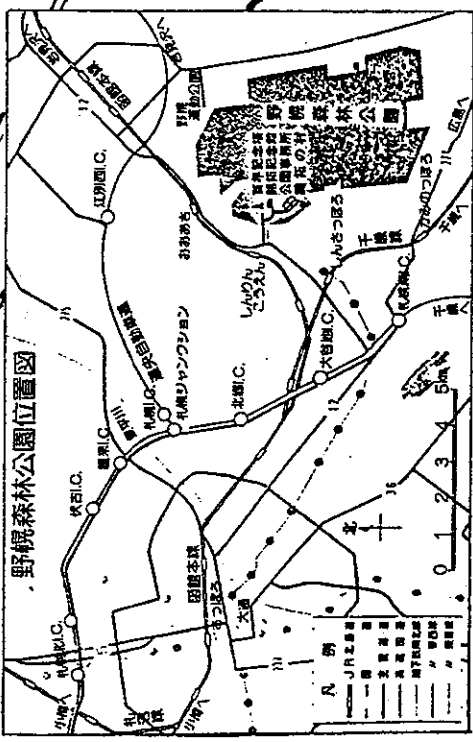
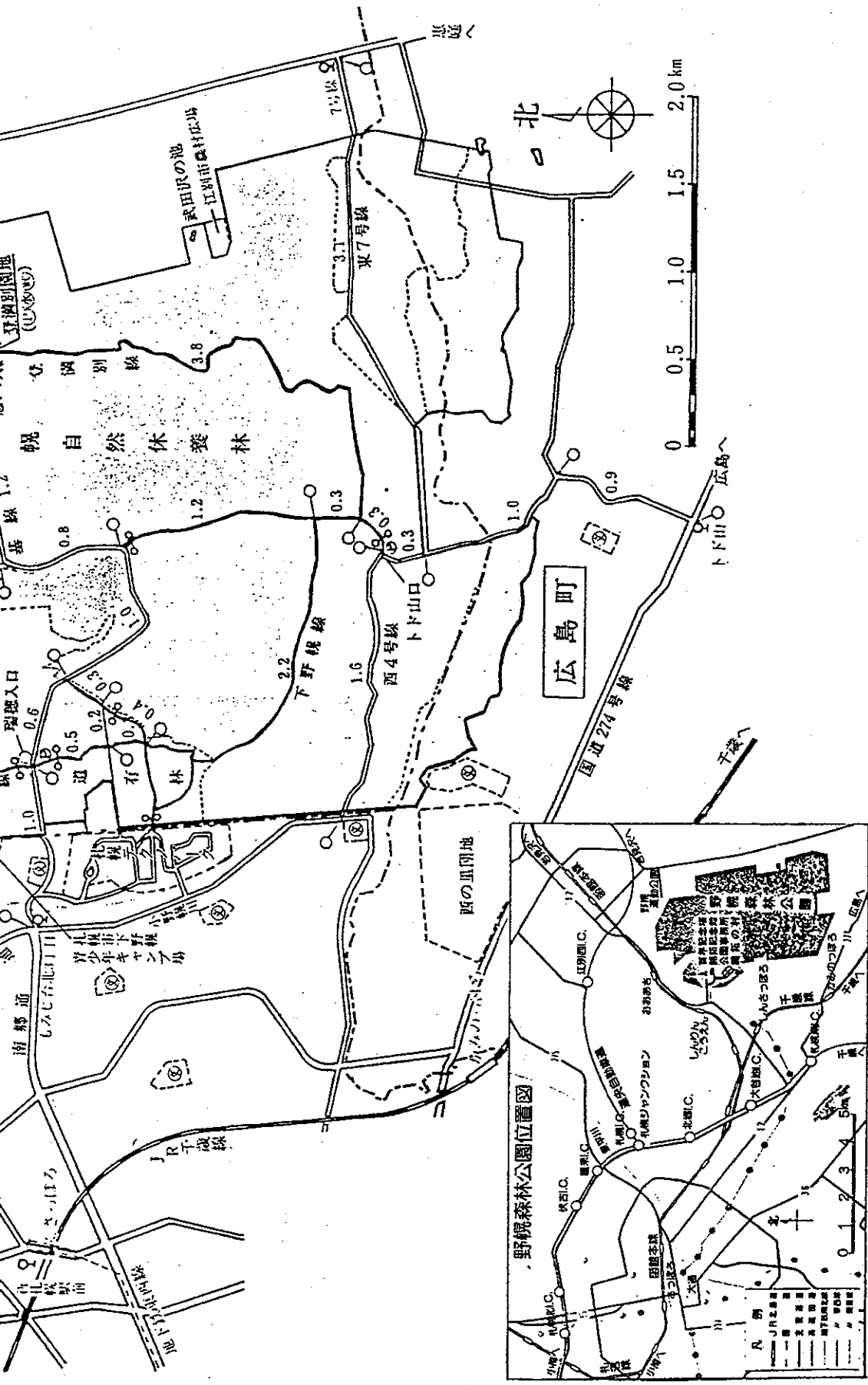
次の冊子を引用または参考にしました。

- ・森のいざない(野幌森林公園事務所 発行)
- ・パンフレット 野幌森林公園(野幌森林公園事務所 発行)
- ・あつべつ区再考(札幌市厚別区 編集発行)



# 野幌森林公園マップ





# 本の紹介

## BOOK

藤原 信 著

日本の森をどう守るか

—岩波ブックレット No.327—

岩波書店 定価 350円

地球上の空気に含まれている炭酸ガスの濃度は、現在0.03% といわれています。また、地球上では石油や石炭の消費によって毎年18億トンの炭酸ガスが排出されていると推計されています。

もし、森林などの空気の浄化作用を持つ生物が存在しなければ、炭酸ガスの濃度は急激に増加し、地球の温暖化が進み、全ての生物に重大な危機が訪れることは明白な事実です。

森林は、大気浄化機能の他に多くのはたらきを持っています。本書の著者はそのうちの主なものとして、四つの機能をあげています。

- ① 木材生産機能（木材生産という経済的観点）
- ② 水源涵養機能（森林の保水力が緑のダムといわれる働き）
- ③ 国土保全機能（森林の表面侵食防止機能）
- ④ 環境養護機能（地球温暖化防止の役割や、森林の恵みを守る公益的機能）

日本の森林を守ることは、国民に対する国の責務であるとの著者の主張は以下の目次によって話が進められています。

- ・森の大切な役割
- ・日本の森が危ない
- ・森を育てる仕事
- ・国有林がたどった道
- ・大規模な林道工事が山をあらす

本書は、62ページの小冊子ですので短時間で読み通すことができますし、森林を守るための基本問題が理解できる本です。

## 患者の観察

野外で患者が発生した場合、すぐに病院に行くことができません。そこで適切な救急処置ができるかどうか、生死を分けることにもなりかねません。まず、慌てず落ち着いて患者の様子を調べ、その場で適切な処置を行ない、病院へ搬送するか、救急隊が来るのを待ちましょう。

### ●患者の観察法と必要な救急処置

患者が発生したら本人または周囲の人から発生時の状況を聞きます。小さなけがや軽い病気なら慌てることもありませんが、倒れて動かないようなら緊急事態です。すぐに患者を安全な場所に寝かせ次の手順で様子を調べ、必要な救急処置を行ないます。

#### 1 意識があるか

まず普通の大きさで声をかける。ふだんどおり返事をすれば意識は正常。患者を元気づけ、ベルトなど身体を締めつけるものを緩め楽な姿勢で休ませる。

返事がない場合はさらに大きな声で呼んでみる。それでも返事がない場合やできても不十分な場合には、腕や胸の皮膚をつねって痛みを加え反応をみます。

意識がない場合には、図-1の姿勢で寝かせます。



図-1

## 2 呼吸をしているか

患者の胸と腹を横から見て、動いているかどうか調べる。分かりにくい場合には患者の口及び鼻に頬を近づけて患者の吐く息が感じられるかどうか、紙屑や紙を口や鼻に近づけて動くかどうかを確認する。しっかりと呼吸をしていれば図-1の姿勢をとります。また呼吸をしていても呼吸の状態をよく観察します。

呼吸回数はどうか？（正常16～20回） 深さは？

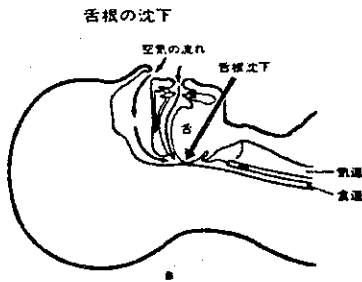
努力性か？ 異常音がしないか？

呼吸をしていなければただちに人工呼吸を行ないます。

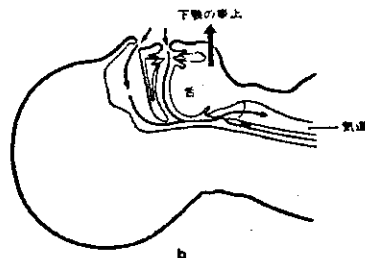
（人工呼吸については次回以降説明します）

### 【気道の確保】

意識障害のある患者では、呼吸機能は障害されていなくても舌根によって気道が閉塞され、呼吸不能となる場合があるので、頭を後ろにそらせるなどの方法で気道を開放しておきます。



【閉塞している気道】  
意識のない人は舌根が咽頭に落ちこんで気道をふさぐ。



【開放された気道】  
下顎を挙上すると、舌根がもち上り、気道が開放される。

## 3 脈拍はあるか

手首の動脈か首の動脈を触れて脈があるか調べる。脈拍を感じる事ができないときは血圧が非常に下がっているか、心臓が止まっている疑いがあります。呼吸しておらず脈拍が感じられない場合には直ちに人工呼吸と心臓マッサージを行ないます。

（心臓マッサージについては次回以降説明します）



脈拍の正常値

60～80回/分



## 4 出血・外傷

全身を観察し、出血・外傷の有無を確認します。大きな動脈が切れると鮮紅色の血液が噴き出す。この場合直ちに止血します。小さな動脈が切れると脈拍と同じリズムで出血し、静脈・毛細血管が切れると暗赤色の血液がじわじわとにじみ出ます。

(止血法については次回以降説明します)

## 5 ショック

ショックとはいろいろな原因により急激に全身の血液循環が悪くなり、その結果全身の機能が低下した状態をいいます。ショック状態が著しい場合には、それだけで死に至る場合があるので、ショックの徴候を早期に発見し予防のための処置をとります。

【ショックの五徴候】

- ①顔面・皮膚の蒼白
- ②無気力・無関心
- ③冷汗
- ④脈拍不触
- ⑤呼吸不全

(ショックについては次回以降説明します)

## 6 瞳孔

上下のまぶたを人差し指と親指で軽く触れて開き、瞳孔を観察します。

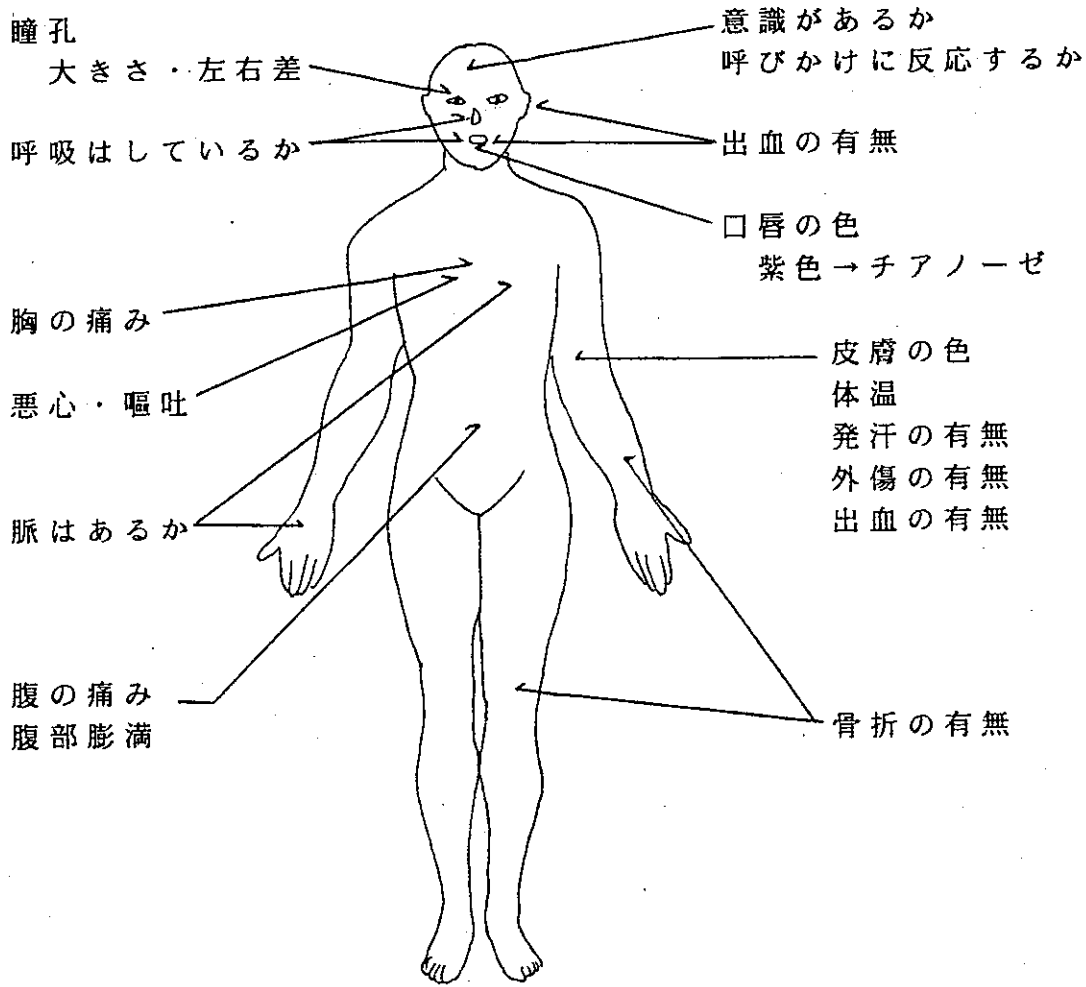
瞳孔が大きくなっている場合～心臓の動きが悪くなっている徴候  
左右の大きさが異なる場合～頭蓋内の異常が疑われる  
意識・呼吸・脈拍がなく、瞳孔が大きくなっている場合には、直ちに人工呼吸と心臓マッサージを実施する。

## 7 顔色・皮膚の色・体温

顔色・皮膚の色を見るとともに患者の皮膚に触れてみる。顔色・皮膚の色が青黒いか又は青白く、皮膚が冷たい場合には呼吸及び心臓の機能が低下している徴候です。

## 8 その他

患者をできるだけ動かさず、全身を観察し、頭と身体的位置関係の異常、手足及び関節の変形、腹部の膨らみ、耳・鼻等からの出血の有無について調べる。意識がある場合には、痛みのある部位及び感覚の異常な部位について患者に聞く。(受症直後には、しびれが強くて痛みを感じないことや、症状が軽いと思っても後になって急変することがあるので、注意が必要です。)



(参考文献)

- 1 救急救命士標準テキスト
- 2 野外安心手帳
- 3 救急法及び野外衛生

へるす出版  
 西東社  
 陸上自衛隊衛生学校

☆次回は日(熱)射病の予定です。

# 観察会研修会 情報

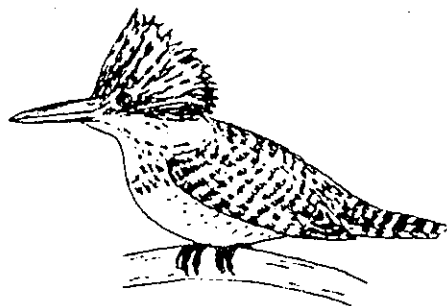
本年度から、協議会主催の自然観察会を野幌森林公園だけでなく、ニセコ・恵庭市・札幌市南区などで実施することになりました。

これは、わたくしたちの協議会の目的をより地域的に拡大したものであり、会員の一人でも多くの参加・協力をお願いします。

自然観察会で、ボランティア・レンジャー（自然解説員）は常に先頭に立ち、いろいろと自然解説をしながら、一般参加者に自らが自然保護や保全のところが醸成される形がのぞましいのですが、そのためにはサポートが必要で、全体的な流れや事故のない目配り・気配りが必須条件になります。

また、ボランティア活動ですから自分自身も自然観察会で楽しなければ、参加の意味がありません。

参加の中から、沢山学ぶこともあります。とにかく参加してみてください。



私たちが住む北海道は、今一番よい季節で、自然が輝いています。このような恵まれた自然環境を多くの人たちに知ってもらうためには、私たち会員一人ひとりが、自然との関わりを大切にすることが重要になってきます。

今年は、自然との関わりのかっかけとなる観察会や研修会の情報をできるだけ多く提供していきたいと思っています。



## 平成6年度に主催・共催する北海道ボランティア・レンジャー協議会の自然観察会

本年度わたくしども北海道ボランティア・レンジャー協議会では、下記の自然観察会を実施します。下見ではいろいろな意見交換も出来、学ぶことも多くあります。1回でも機会を作り、気軽に参加してみませんか。

### \*環境月間協力行事（環境の日）北海道と共催「野幌自然観察会」 野幌森林公園

平成6年 6月 5日（日） 9:30-12:00（視 雑 6年 5月29日 9:30-12:00）

集合場所 野幌森林公園百年記念塔下「森の自然教室」前

### \*「ニセコの自然」共 和町神仙沼周辺

平成6年 6月26日（日） 10:00-12:00（視 雑 6年 6月25日 14:00-16:00）

集合場所 共 和町神仙沼休憩所駐車場

### \*「恵庭の自然」 恵庭市恵庭公園

平成6年 7月24日（日） 9:30-12:00（視 雑 6年 7月17日 9:30-12:00）

集合場所 恵庭市恵庭公園駐車場

### \*「野幌自然観察の集い」 野幌森林公園

平成6年 9月 4日（日） 9:30-12:00（視 雑 6年 8月28日 9:30-12:00）

集合場所 野幌森林公園百年記念塔下「森の自然教室」前

### \*「野幌の森林」 野幌森林公園

平成6年12月 4日（日） 10:00-12:00（視 雑 6年11月27日 10:00-12:00）

集合場所 野幌森林公園北海道開拓記念館前

### \*「滝野の森を歩く」国営滝野すずらん丘陵公園

平成7年 2月26日（日） 10:00-12:00（視 雑 7年 2月19日 10:00-12:00）

集合場所 国営滝野すずらん丘陵公園駐車場

# ニセコの自然が呼んでいる！

自然観察会 6月25・26日

本年度初めて**会員交流会**を下記のとおり、計画・実施することになりました。それも翌日自然観察会を行なう少々欲張りな計画です。

会員の皆さんには、いろいろとご多忙とは思いますが、折角の催しであり都合をつけられ是非、参加くださるようご案内します。とくに、後志支庁管内の会員の参加をお待ちしています。

## 記

**交流会** 平成6年6月25日(土) 18:30~21:00 ベンションふきのとう

〒048-15 北海道ニセコ町ニセコ482 ☎0136-58-2623

### 自然観察会の予見

平成6年6月25日(土) 14:00~16:00 神仙沼休憩所駐車場集合で、神仙沼周辺コースを下見

### 自然観察会 ニセコの自然

平成6年6月26日(日) 10:00~12:00 神仙沼休憩所駐車場集合で、神仙沼周辺の湿原約1.5Kmk(往復)のコースを自然観察

◎ 6月26日(日)朝食前に探鳥会をおこないます。

費用は、1泊朝食……4,500円 夕食・交流会……3,000円 計7,500円です

※ 宿泊等の関係がありますので、**参加希望の会員は6月20日(月)までに事務局までご連絡ください** (佐々木 夫 〒003札幌市石川町5条2丁目4-32 ☎(011)875-6602)



平成6年度 ボランティア・レンジャー育成研修会

日時： 7月29日(金)～7月31日(日)  
場所： 中川郡美深町美深森林公園

平成6年度ボランティア・レンジャー育成研修会が、7月29日(金)～7月31日(日)中川郡美深町美深森林公園で開催されます。

本年度から、この育成研修会のカリキュラムで「自然解説の方法と技術について」の講義と実習を北海道ボランティア・レンジャー協議会が受け持つことになりました。ボランティア・レンジャーとして実践を通した「自然解説の方法と技術について」は、2日目(7月30日10:20-12:00講義、13:00-16:00実習)行なわれますが、その時間帯に、研修会に迷惑をかけない形で参加してみませんか。参加した客観的立場からご意見を頂き、そのカリキュラムがより向上することを望んでいます。

また、知人・友人でボランティア・レンジャーとして適当と思われる方をご勧誘ください。育成研修会の申し込み期間は6月20日から7月11日までで、募集人員は30名程度としております。詳細につきましては、北海道保健環境部自然保護課保全係(〒060 樺神坂北3廻6丁目(011)231-4111(内線25-571))にお問い合わせください。

会員の皆さんの中で、2日目の育成研修会に参加を希望されるかたは、人数を確認したいと思いますので、事務局(事務局長 佐々木幸夫 TEL 011-875-6602)まで連絡下さい。



# お知らせ

会報「エソマツ」第28号でお知らせしました「環境学習リーダー研修会」が、正式に「平成6年度環境学習地域リーダー研修会」として、地域の環境学習を实践する指導者・リーダーの養成と資質向上を図るために北海道（窓口北海道保健環境部環境調整課快適環境係）が実施主体となって、平成6年6月21日（火）午後2時30分から22日（水）午後4時まで真駒内ハイツ・北海道青少年会館（札幌市南区真駒内柏丘7丁目8番1号☎(011)581-1141）で行ないます。

21日は、**環境学習実践事例の紹介**を川嶋直氏（財団法人キープ協会）・丸山博子氏（丸山環境教育事務所）・島田明英氏（自然ウォッチングセンター）・矢作嘉博氏（幌加内町ふれあいの家「まどか」）の各講師に、次いで**環境学習プログラムの概要説明と交流会**。22日は、**環境学習プログラムの体験とその評価、環境学習プログラム全体を通じたクリティーク**が主な研修内容です。

対象者は、道及び市町村の環境行政担当者・教育関係者、環境学習団体関係者、その他環境学習等に関心のある一般道民（定員40名程度）となっています。

## 研修会参加費等について

### 1 宿泊費及び交流会費用について

費用は、1泊2食（交流会・朝食）で9,500円程度（交流会に参加せず宿泊（輪特）のみ場合は、5,000円）を予定しており、当日、会場で徴収。昼食は各自、会館内レストランで。

### 2 送迎バスの利用について

当日（6月21日）、記念講演会会場（ホテルKK札幌）前から真駒内ハイツ・北海道青少年会館まで無料送迎バス（12時45発）が出ます。送迎バスを利用しない場合は、14時15分までに北海道青少年会館ロビーに集合のこと。

### 3 参加者の服装・持参用具等について

- 1) 服装等……野外実習の出来る服装、雨具、帽子、軍手
- 2) 用具等……洗面道具、筆記用具
- 3) その他（必要に応じ持参するもの）

フィルムのケース（サンプル保存用）、ピンセット、虫よけスプレー又は虫よけクリーム

### 4 その他

宿泊参加を原則とする。

締め切りは6月10日(金)とします。受講希望者は、事務局に電話かはがきで申し込みください。

なお、6月21日(火)午前9時45分から(開場前準備25分)、KKR札幌5階「丹頂」(札幌区4条5丁目 ☎(011)231-6711)で、毎年6月の「環境月間」を広くPRし、環境問題に対する意識を深め、将来に向けてより良い環境を創出する努力と決意を新たにする記念講演会が北海道主催で行なわれます。

テーマは「地球とは もっとなかよくなれるはず」で、記念講演は「体験型環境教育の実践」川嶋直氏(財団法人キープ協会 環境教育事業部長)と「自然を生かしたマチづくり」小川隆氏(エコ・ネットワーク代表)があり12時30分に閉会されるので、これに併せて参加の希望者を連絡ください。



「エゾマツ」が会員の皆さんの交流の場となるよう、各地の情報の提供を待っています。

- ・各地での観察会情報
- ・各地の季節ごよみ
- ・メッセージ
- ・日頃考えている事
- ・その他諸々

会員相互のコミュニケーションの場と考え、気軽に投稿して下さい。

( 原稿送り先 )

事務局 〒003 札幌市白石区川下5条2丁目4-23 事務局長 佐々木幸夫

広報部 〒065 札幌市東区東苗穂11条2丁目897-2 田村 允都

## 編集後記

平成6年度の活動計画が総会で承認され、各部の活動が始まりました。広報部のスタッフも、8名に増えました。全道各地で活躍されている会員の皆さんへ情報を提供したり、交流の場としての役割が果たせるよう頑張っていきたいと考えています。

少しでも新鮮な内容にと、今年度から、特集を組むことを計画しましたが、会員の皆さんの感想や意見を取り入れながら、充実した紙面作りをしていきますので、今まで以上のご協力をお願いします。

北海道ボランティア・レンジャー協議会  
会報誌「エゾマツ」29号 1994.6.10発行  
発行責任者 大友 健  
(表紙題字は 岡田 元北海道生活環境部長)